VISION

取付・取扱説明書

1350S
1350B
1355S
1355B

STANDARD SECURITY

注 意 ！

本説明書内に記載のある「取付」を行うには、車両電装及び盗難発生警報装置の取付に関する専門的な知識と経験が必要です。

本書内「取付説明」には車両電装並びに盗難発生警報装置の取扱に必要な専門用語が使われており、本書説明に従った本装置の取付を行うには車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

新保安基準適合

Ver. 14509

目　次

はじめに ・・・ **1**
安全に正しくお使いいただくための表示について ・・・ **1**
梱包物をご確認ください ・・・ **4**
リモコンの各部名称と注意事項 ・・・ **5**
システムをセットする ・・・ **6**
　システムセット（警戒） ・・・ 6
　サイレントモードの（リモコンボタンⅡによる）セット ・・・ 6
　消音の（リモコンボタンⅢによる）セット ・・・ 6
　オートアーム機能によるセット ・・・ 7
　オートリアーム機能によるセット ・・・ 7
システムセット時の異常 ・・・ **8**
　エラーチャープ ・・・ 8
システムを解除する ・・・ **9**
　通常の（リモコンボタンⅠによる）解除 ・・・ 9
　消音解除（リモコンボタンⅡまたはⅢによる操作） ・・・ 9
　緊急（緊急リセットコードによる）解除 ・・・ 9
その他の操作 ・・・ **10**
　ダイレクトドアロックのボタン操作 ・・・ 10
警戒中のシステム動作 ・・・ **10**
その他の機能 ・・・ **12**
各種機能の設定 ・・・ **13**
機能選択項目説明 ・・・ **14**
　インテリジェントIGプロテクト（エンジンスタータ対応） ・・・ 14
　リモートスタート中確認動作（エンスタ連動ライト） ・・・ 14
　オートアーム ・・・ 14
　オートリアーム ・・・ 14
　イクステリアイルミネーション（解除点灯機能） ・・・ 14
リモコン電池の交換方法 ・・・ **15**
きせかえシートの装着方法 ・・・ **16**

取扱に関するQ ＆ A **17**
車を点検に出したらリモコンが効かなくなった！ 17
リモコンを紛失して不正利用されるのが不安！ 17
出先でリモコンを紛失してしまった！ 17
リモコンの電池が切れてしまった！ 17
システムはセットされているのに何も反応しない！ 17
リモコンの反応が悪い、効かない時がある！ 17
取付に関する説明 **19**
主要パーツの設置 19
衝撃センサーの感度調整及び作動条件 20
バックアップサイレン（1350B／1355Bの場合） 21
実態配線図 22
配線接続説明 23
リモコン登録方法 **26**
緊急リセットコード変更方法 **27**
取付に関するQ ＆ A **28**
テスト時シングルステージが反応しない！ 28
車の点検中、電装品の取付中にリモコンが効かなくなった！ 28
超音波センサーを併用しているが、軽い衝撃でサイレンが鳴ってしまう！ 28
プッシュスタート車両での緊急リセットの方法は？ 28
リモコンはいくつまで増設できますか？ 28
オプションのボンネットスイッチはどこへ接続するの？ 29
スマートエントリー車のドアロックをVISIONセキュリティシステムからコントロール可能ですか？ 29
純正イモビライザー装着車にVISIONの装着は可能ですか？ 29
仕様一覧 **30**
配線メモ **31**

はじめに

この度はVISION1350S、1350B、1355S、1355Bスタンダードセキュリティをお買い求めいただき誠にありがとうございます。ご使用前に必ず本書をお読みいただき、正しい取扱方法によりご使用いただきますようお願いします。また、本書は読んだ後も大切に保管してください。

なお、本書は、あなたやほかの人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、本装置を安全に正しくお使いいただくために守って頂きたい事項を示しています。その表示と図記号の意味は次のようになっています。本装置をお使いいただく前に必ずよくお読みください。

安全に正しくお使いいただくための表示について

⚠ 危 険　人が死亡するまたは重傷を負う危険が想定される内容を示しています。

⚠ 警 告　人が重傷を負う危険が想定される内容および物的損害が想定される内容を示しています。

⚠ 注 意　本装置の本来の性能を発揮できなかったり、本装置の故障をまねく内容を示しています。

危　険

● 本装置取付時のバッテリー電源

本装置の取付を行う場合には必ずバッテリー電源をはずした状態で作業を行ってください。電源がはずされていない状態で作業を行うと、車両または車両の機器の突発的な動作により重大な事故の原因となります。

● 本装置の設置位置

コントロールユニットを水、湿気、熱、湯気、ほこり、油等の多い場所に保管、設置しないでください。火災、感電、故障の原因になります。

警　告

● 本装置の取付

本装置の取付には車両電装および車両整備に関する詳しい知識と技術が必要です。取付は必ず車両電装に関する専門の知識と技術をお持ちの取付店にて行ってください。専門の知識や技術のない方が取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 本装置の設置位置

本装置は車両の機器や他の機器と干渉する場所やそれら機器に影響を及ぼすような場所には設置しないでください。特に車両の機器の性能を損なうような取付を行うと本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

● 12V車専用

本装置は12V電源専用機器です。24V車への取付を行うと車両または本装置の故障・損傷のみならず、人体にも危険が及ぶ可能性があります。

注　意

● 本装置の固定

　本製品は確実に固定してください。固定が不十分であると、故障の原因になったり、性能が十分に発揮されない可能性があります。

● 車両のバッテリー交換

　車両のバッテリーターミナルをはずす際には必ず本製品の主電源（メインカプラ）をはずした状態で行ってください。主電源を接続したままバッテリーを交換すると、登録されているリモコンのIDコードが消える等の故障の原因になる可能性があります。

● エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両

　エアバックや盗難防止機能付ステレオを装備した車両は、バッテリーがはずされたことを記憶する機能を有していることがあります。この記憶状態をリセットするには専用のID番号が必要となり、その車両を購入したディーラーでなければ解除できないことがあります。

● 取付作業

　本製品の取付時は換気と鍵の閉じこめ防止のため窓を開けて作業を行ってください。

● 充電制御システムを装備した車両

　一部車両の充電制御システム装備車では、バッテリーへの配線方法によりバッテリー上がりを起こす可能性があります。

その他の注意

● **万一誤った設置や配線、車両電装の知識不足による誤った配線方法により車両の破損、故障が発生しても当社では一切責任は負いかねます。**

● **本製品は盗難防止を目的としたシステムですが、本製品の作動の有無に関わらず盗難等の被害が発生しても当社では一切の責任を負いかねます。**

● **保安基準第４３条の５第２項により、必ずいずれのドアが開いても本警報を発するように取付を行ってください。3ドアまたは5ドア車のハッチバックまたはリアゲートはドアとして判断されます。必ずこれらのドアが開いた場合にも本警報を発するように取付を行ってください。**

梱包物をご確認ください

メインユニット ×1

TX-35ﾘﾓｺﾝ ×1(Sﾓﾃﾞﾙ)
(Bモデル＝2個標準)

車載受信アンテナ ×1

衝撃センサー ×1
(1350S、1350B)

衝撃センサー ×1
(1355S、1355B)

動作確認LED ×1

ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟｻｲﾚﾝ ×1
(1350B,1355B)
※専用キー2個 再発行不可

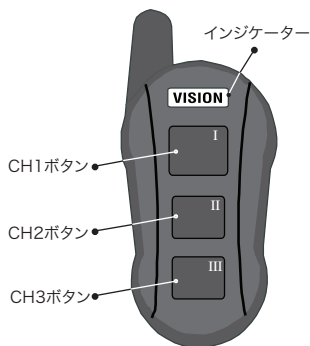
サイレン ×1
(1350S,1355S)

配線用ハーネス ×1

アンテナ用ハーネス ×1

その他の梱包物

車載受信アンテナ固定用両面テープ	X 1
適合証明書	X 1
VISIONステッカー	X 1
本説明書	X 1

リモコンの各部名称と注意事項

重　要!

本リモコンは特定小電力標準規格ARIB STD-T67技術基準に準拠した製品です。この技術基準では電波の送信時間および送信間隔が細かく規定されています。

この規格によりボタンを1回操作し電波を送信すると2秒間は電波の送信ができません。

したがってこの2秒以内にボタンを押してもON/OFFなどの操作はできません。

リモコンのボタン操作は2秒以上の間隔を開けて行ってください。

リモコン操作クイックガイド

ボタン操作早見表

機能	ボタン操作	
セット/解除(確認チャープ音有)	I	短押
サイレントモードによるセット/解除(確認チャープ音無)	II	短押
消音セット/解除(確認チャープ音無)	III	短押
センサーバイパスモードのセット	I & II	短押
ドア・ロック/アンロックのみの操作	II & III	短押
パニック機能	I or II or III	長押

付属の電池について

製品に同梱の電池は動作確認用です。製品同梱の電池は寿命が短い事がありますが異常ではありません。CR2032電池を新たに購入してご使用ください。

システムをセットする

システムセット(警戒)

通常モードのセット

リモコンの Ⅰ ボタンを1回押します。

チャープ音が1回発せられ動作確認LED(以降LED)が点灯します。(ハザードフラッシュの配線が施されている場合は)ハザードが1回点滅し、(ドアロックの接続がされている場合には)ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始します。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。

※ (LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションをまわしても発報しません。)

サイレントモードの(リモコンボタンⅡによる)セット

リモコンの Ⅱ ボタンを1回押すことにより、サイレントモードでセットすることができます。サイレントモードとは、システム警戒時に異常が検知された場合にサイレンは一切鳴らさず、ハザードの点滅だけで車両の異常を周りに伝えるモードです。

LEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

消音の(リモコンボタンⅢによる)セット

リモコンの Ⅲ ボタンを1回押すことにより、確認チャープ音を消しながらセットする事ができます。警戒中の動作は通常セットの場合と同じです。

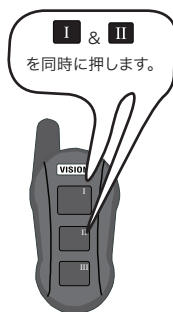
LEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力(GWA)が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

システムをセットする（続き）

センサーバイパスモードの（リモコンボタンⅠ＋Ⅱ）セット

リモコンの Ⅰ と Ⅱ ボタンを同時に押すと、センサーバイパスモードでセットすることができます。センサーバイパスモードとは衝撃センサーやオプションセンサー（別売）を一時的に検知しないようにセットするモードです。それ以外の動作は通常モードと同じです。

Ⅰ & Ⅱ
を同時に押します。

チャープ音が2回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、ドアがロックされ、動作中出力（GWA）が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わります。これによりシステムが警戒を始めたことを知らせます。

オートアーム機能によるセット …（機能設定した場合のみ）

イグニッションOFF後、最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると自動的にセットされます。（ドアロックは行いません）

チャープ音が1回発せられLEDが点灯し、ハザードが1回点滅し、同時に動作中出力（GWA）が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。
ドアロックはされません。

オートリアーム機能によるセット …（機能設定した場合のみ）

解除後60秒以内にドアが開けられない場合には、自動的に再セットされます。
誤って解除しても自動的に再セットできる便利な機能です。

チャープ音が1回発せられLED(以降LED)が点灯し、ハザードが1回点滅します。ドアがロックされ、動作中出力（GWA）が開始されます。LEDは5秒間点灯した後点滅に変わり、システムが警戒を始めたことを知らせます。

ヒント

どの方法でセットしても、LED点灯中にドアを開けたり、イグニッションを回しても発報はしません。

システムセット時の異常

エラーチャープ

　警戒セット時にすでにいずれかのセクター(監視箇所)に信号入力がある場合、セット後すぐに異常を知らせます。
　LEDが点灯中にそれらの信号を取り除き正常な状態に戻してください。LEDが点滅を始めても、異常信号が入力状態になったままのセクターはバイパスされています。バイパスは異常信号がなくなってから5秒後に復帰します。

通常モードまたはセンサーバイパスモードのセット時
警戒セット後にチャープ音を２回発し、２回のハザード点滅を行います。

サイレントモードまたは消音セット時
警戒セット後にハザード点滅を２回行います。（チャープ音は鳴りません。）

注意！

・ドア信号入力はドアが一度完全に閉じられるまでバイパスされ、閉じられた後は正常に監視されます。
・セット時に異常となっているセクター(ドア、センサー)は必ずLEDが点灯中に正常な状態(ドアは閉じる、センサーは反応していない状態)にしてください。

※セクターとは監視箇所(ドア、センサー、IG)の総称です。

システムを解除する

通常の（リモコンボタンⅠによる）解除

リモコンの Ⅰ ボタンを1回押します。

　チャープ音が3回発せられLEDが消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアがアンロックされ、動作中出力（GWA）が停止します。

消音解除（リモコンボタンⅡまたはⅢによる操作）

　リモコンの Ⅱ またた Ⅲ ボタンを1回押すことにより、確認チャープ音を消しながら解除する事ができます。

　LEDが消灯し、ハザードが3回点滅します。ドアがアンロックされ、動作中出力（GWA）が停止します。

緊急（緊急リセットコードによる）解除

※ 緊急解除機能を使用するには、ドア信号入力線及びIG信号入力線が接続されている必要があります。

手順	作業内容
1	警戒（セット）中にドアを開け異常発報させます。
2	異常発報中にイグニッションキーを任意に登録した緊急リセットコードの回数ACC⇔ONの間で動かします。(ドアは開けたままの状態で行ってください。)
3	ドアを閉めます。
チャープ音が３回鳴り、解除されます（サイレントモードではチャープ音は鳴りません）。 （手順３のドア閉めを行わない場合には、30秒間の異常発報停止後に解除。）	

※工場出荷時の緊急リセットコードは6です。

ヒント

　プッシュスタートシステム搭載車両では上記操作は困難ですので、別売オプション機能設定スイッチ：PBS-30をご使用ください。
　PBS-30を使用される場合には上記手順でイグニッションキーをON／OFFするかわりに機能設定スイッチPBS-30の赤ボタンを押します。

その他の操作

ダイレクトドアロックのボタン操作

Ⅱ & Ⅲ を同時に押すことでシステムをセットせずにドアのロック／アンロックのみをコントロールすることができます。

警戒中のシステム動作

ドア検知

ドアが開けられると30秒間またはリモコンで停止されるまで異常発報します。ドア開けによる発報はドアを解放したままの状態で最大5回までです。その後は一旦ドアを閉め、再度ドアを開けるまで発報しません。

インテリジェントIGプロテクト

インテリジェントIGプロテクト(IIP)機能はエンスタモードが選択されていても、警戒中にドア開けにより異常発報すると、その後再度セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

動作確認LED

警戒中は通常1秒に1回のゆっくりした点滅を行います。異常発報すると点滅速度が早くなり、一度解除され再度セットされるかイグニッションがONされるまで継続します。一旦発報が止まっても異常があったことを知らせてくれます。

GWA(動作中出力)

セット中にアースが連続して出力されます。ルミネーター等のオプション(別売)をコントロールする場合に使用します。

センサー検知

シングルステージ:(弱衝撃)

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警告動作を行うとチャープ音が5回鳴り(サイレントモードでは鳴りません)、ハザードが5回点滅します。
※センサーバイパスモードでは反応しません。

デュアルステージ:(強衝撃)

付属の衝撃センサーまたはオプションセンサーが警報動作を行うと、30秒間またはリモコンで停止するまで異常発報します(サイレントモードでは鳴りません)。
※センサーバイパスモードでは反応しません。

警戒中のシステム動作（続き）

セキュリティ警戒中のエンジン始動検知

　機能選択表のインテリジェントIGプロテクト（IIP）のモード選択(13頁モード選択表参照)により下記2種類の動作を行います。

Ⅰ

プロテクトモード（エンジンスタータ非対応）：

　エンジンがかけられると30秒間またはリモコンで解除されるまで異常発報します。

　イグニッションをONにしたままにすると本警報は最大で10回鳴り、11回目からは発報しません。

Ⅱ

エンジンスターター／ターボタイマー対応モード：

　エンジンがかけられるとショックセンサーはエンジン停止まで無視されます。ただし、このモードが選択中であってもドアは引き続き監視中ですので、ドアが開けられた場合には異常発報が行われます。

ハイセキュリティサイレンストップ

　車両で異常が発生し異常発報またはパニックによる発報をしている場合、リモコンのボタンを1回押すと異常発報が停止し、警戒は継続します。解除したい場合には異常発報していない状態で Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、のいずれかのボタンをもう一度押す必要があります。

その他の機能

ハザードの点滅

セット時→1回点滅、発報中→30秒間点滅、解除時3回点滅、警告時→5回点滅、エラーチャージ時→2回点滅。

セクターバイパス(SBS)機能

同じセクターにより10回異常発報した場合、そのセクターは周囲への迷惑を防止するため11回目以降はバイパスされ反応しなくなります。バイパスを解除するには一度システムを解除し、再度セットする必要があります。(※ドアは除く)
※セクターとはドア、IG、センサー等の監視箇所のことです。

(トリガー)メモリー機能

解除時に通常3回の解除音が4回に変化し、通常警戒中は0.5秒に1回のゆっくりした点滅を行うLEDが、異常発報と同時に点滅速度が早くなります。LEDの早い点滅は、システムが再セットされるか解除中にイグニッションがONされるまで継続します。このような場合は車両に異常がないか確認してください。

パニックサイレン機能

リモコンの Ⅰ ボタンまたは Ⅲ ボタンを3秒以上長押しすることにより意図的に発報させることができます。このパニックサイレン機能による発報は30秒間継続します。発報中は、ハザードフラッシュとLEDの急点滅も行われます。

※ ボタン Ⅱ による操作の場合は発報せず、ハザード点滅のみとなります。

バックアップサイレン (1350B、1355Bのみ)

専用キーでONにすることで常時機能します。バッテリー端子の切断やサイレンの電源線を切断されると発報します。
※ 車両のバッテリーを交換する場合は事前に専用キーでOFFにしてください。OFFにしないとサイレンが鳴りっぱなしになり故障の原因となります。

各種機能の設定

本製品は、お客様のご利用環境に、より適応させるための便利な機能を準備しています。モード選択の方法は以下の手順にしたがい、下記表にある回数イグニッションキーをON/OFFさせます。

1. リモコンを使って一度システムをセットした後すぐに解除します。
2. 解除後20秒以内にイグニッション・キーをACCポジションからONポジションへ必要回数動かし、再びACCポジションへ戻します。(20秒以内に必要回数動かしてください。)
3. 上記操作終了後ただちにリモコンの I ボタンを押します。
4. ハザードランプがイグニッションキーをON/OFFした数と同じ回数だけ点滅し、モードが変更された事を表示します。
5. モード変更完了です。別の項目を変更する場合は手順1.～4.を繰り返します。

ヒント

モードは上記手順1.～4.を繰り返すたびに入れかわります。

モード選択表：

ON/OFF 回数	選択機能	選択内容	工場出荷時
3	インテリジェントIGプロテクト（エンスタ対応）	ﾌﾟﾛﾃｸﾄ/ｴﾝｽﾀ	ﾌﾟﾛﾃｸﾄ
4	リモートスタート中確認動作	ON/OFF	OFF
8	オートアーム	ON/OFF	OFF
10	オートリアーム	ON/OFF	OFF
17	イクステリアイルミネーション	ON/OFF	OFF
20	リモコン登録/リセットコード変更※	初期値 "6”	

※26、27頁参照

ヒント

プッシュスタートシステム搭載車両では上記操作は困難ですので、別売オプション機能設定スイッチ：PBS-30をご使用ください。
PBS-30を使用される場合には、上記手順でイグニッションキーをON／OFFするかわりにPBS-30の赤ボタンを押します。

機能選択項目説明

インテリジェントIGプロテクト（エンジンスタータ対応）

「**プロテクト**」を選択した場合、警戒中にエンジン始動すると異常発報します。
「**エンスタ**」を選択した場合、エンジン始動中はドア開け検知以外では異常発報しないためエンジンスタータ／ターボタイマーとの併用が可能です。

※　インテリジェントIGプロテクト（IIP）機能はエンスタモード選択中でも、警戒中にドア開け信号を検知し異常発報すると、その後再度セットされるまで、エンジン始動で異常発報し乗逃げをガードします。

リモートスタート中確認動作（エンスタ連動ライト）

「**ON**」を選択した場合、警戒状態でエンジン始動中はハザードランプが点灯し続けます。
※この機能はエンジンスターター「対応」設定されている場合に有効です。

オートアーム

「**ON**」を選択した場合、イグニッションOFF後最後にドアを開閉した時点から20秒経過すると、自動的にシステムをセットします。（ドアロックは行いません。）

オートリアーム

「**ON**」を選択した場合、システムを解除した後60秒以内にドアが開けられるか、イグニッションキーがONされない場合には自動的に再セットします。

※　結線の方法によっては、ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できない場合があります。

イクステリアイルミネーション（解除点灯機能）

「**ON**」を選択した場合、解除時のハザード点滅（3回）後ハザードランプが点灯します。点灯は30秒経過するか、ドアが開くか、IGがONになるまでつづきます。夜間の駐車場でお車を見つけやすくします。

※ ドアロックの解除に連動してルームランプ等が点灯する車両では利用できません。

ヒント

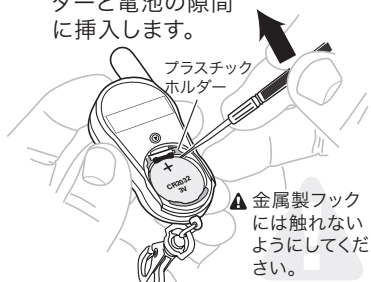
異常発報とはシステムが異常を検知し、サイレン鳴動やハザードフラッシュを行う事です。システムが通常セットされている場合には30秒間のサイレン鳴動と、ハザードフラッシュを行います。サイレントモードでのセット時にはハザードフラッシュのみとなります。

リモコン電池の交換方法

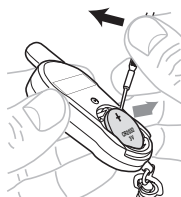
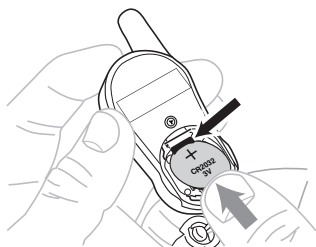
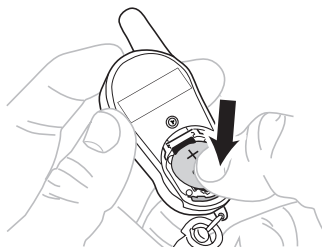
電池の取り外し方

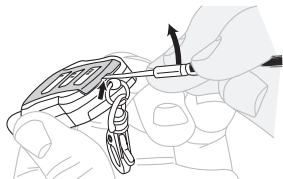
❶ 電池蓋を図のように▽部分を押しながらスライドします。

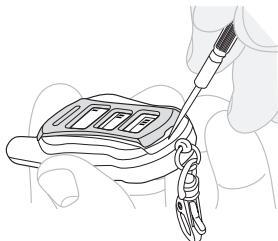
❷ マイナス精密ドライバーを金属製フックわきのプラスチックホルダーと電池の隙間に挿入します。

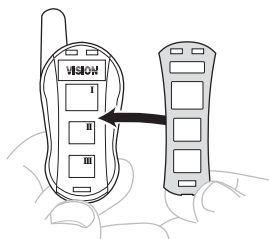
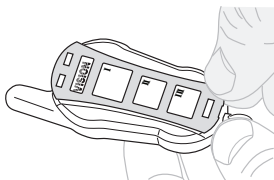
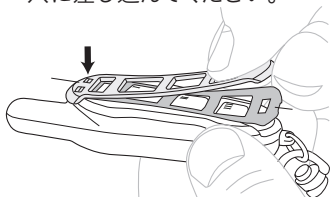
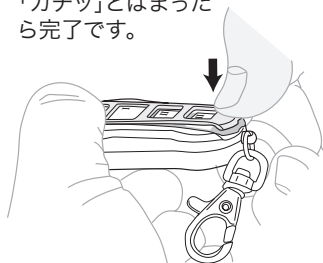
⚠ 金属製フックには触れないようにしてください。

❸ ドライバーを矢印の方向へ動かして行くと電池がポップアップします。勢い良く飛び出す場合があるので注意してください。

電池の入れ方

❶

❷ まず図のように金属製フック側に電池をさし込みます。

❸ 次にプラスチックホルダー側に電池を押しつけるようにして電池をはめ込みます。

きせかえシートの装着方法

❶ ドライバーを図のようにフェースプレート最下端のくぼみとリモコン本体との隙間に挿入します。

⚠ プラスチックに傷を付けないよう十分に注意してください。

❷ ドライバーを上に持ち上げるようにします。

⚠ ドライバーの先を上にはね上げないでください。フェースプレート破損の原因となります。

❸ フェースプレートがはずれたら、お好みのきせかえシートを図の位置に貼付けます。

❹ きせかえシートにあいているフェースプレートのツメ穴やボタン穴がリモコン本体と合うようにはりつけてください。

❺ きせかえシートをはりつけたら次にフェースプレートをかぶせます。
フェースプレートは必ず図のように上部の2つのツメから取付穴に差し込んでください。

❻ 最後にフェースプレート下端をリモコン本体のツメ穴に上から押し込むようにします。
「カチッ」とはまったら完了です。

取扱に関するQ ＆ A

Q1 :**車を点検に出したらリモコンが効かなくなった！**

A1 :　車両点検作業の際にバッテリーをはずす等して電源ラインにノイズが発生すると、まれにリモコンのメモリーが消えてしまうことがあります。バッテリーをはずす前に、必ず本体のメインカプラーを抜いてから作業を行ってください。
☞システムセット中に効かなくなった場合には、緊急解除コードを使用してセキュリティを解除します。すぐに続けてリモコン登録モードに入り、リモコンの再登録を行ってください。（本説明書26頁リモコン登録方法を参照）

Q2 :**リモコンを紛失して不正利用されるのが不安！**

A2 :☞本製品ではリモコン登録の方法として、よりセキュリティ性の高いオールリセット方式を採用しています。この方式ではリモコン登録時に登録されているすべてのリモコンIDが消去され、新たに登録されたリモコンのみが利用可能となります。
　本書26頁を参照してリモコンの再登録を行ってください。紛失したリモコンでは操作できなくなります。

Q3 :**出先でリモコンを紛失してしまった！**

A3 :　緊急解除コードを使用して解除することができます。解除方法は本説明書９ページの「緊急（緊急リセットコードによる）解除」を参照してください。

Q4 :**リモコンの電池が切れてしまった！**

A4 :　本製品のTX-35リモコンには市販のCR2032ボタン電池を使用しています。お近くのコンビニエンスストアやホームセンター等でお買い求めください。

Q5 :**システムはセットされているのに何も反応しない！**

A5 :　システムセットの際にリモコンボタンCH2を使用していませんか？ II を使用するとサイレントモードでセットされるため取付内容によっては何も反応していないように感じることがあります。（６頁「サイレントモードのセット」をご参照ください。）

Q6 :**リモコンの反応が悪い、効かない時がある！**

A6 :　ボタンはしっかり押してください。ただし、長く押しすぎるとパニックモードになりサイレンが鳴り出しますので注意が必要です。
　リモコンの規格に関しては、５頁の『重要』をお読みください。

《保証・無料修理規定》

1:本製品の保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2:　取扱説明書の注意事項にしたがった正常な使用状態で保証期間中に万一故障した場合は、お買い上げの販売店にて無料修理いたします。
ただし、出張修理の場合は実費を申し受けます。

3:　保証期間内に故障して無料修理をご依頼になる場合には、商品と本書をご持参の上お買い上げの販売店にてご依頼ください。保証書のない場合には保証対象外となります。又、必ずご購入レシートを添付してください。

4:　ご転居、ご贈答品等で本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、当社へ直接お送りください。

5:　本製品は持ち込み修理品です。製品をお送りいただく際の送料および取りはずし、取付費用は、お客様のご負担となります。

6:保証期間内でも次の場合は有償となります。
●リモコン電池等の消耗品の交換、及び電池の液漏れによる故障、損傷
●製品内への水・油分等の浸入による故障及び損傷
●使用上、取付上の誤り、不注意による故障及び損傷
●不当な修理、改造による故障及び損傷
●お買い上げ後の落下等による故障及び損傷
●火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害、塩害等による故障及び損傷
●普通乗用車以外に使用された場合の故障及び損傷
●本書のご提示がない場合または保証書記載事項に不備のある場合
●本書にお買上げ日、購入者名、販売店名の記入のない場合、字句を書き換えた場合

7:本書は日本国内においてのみ有効です。(This warrenty is valid only in Japan)

8:本書は再発行は致しませんので、紛失しないように大切に保管してください。

注意！

※　この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありません。
※　保証期間経過後の修理等についてご不明な点は、お買上げの販売店へお問い合わせください。
※　各記入欄に必要事項の記載のない保証書は無効となりますので、記入の有無をご確認ください。万が一記入漏れ事項がある場合は、直ちにお買上げの販売店にてお申し付けください。
※　製品同梱の適合証明書は車検時の審査通過を保証するものではありません。
本製品の動作の有無に関わらず盗難等の被害については当社では一切の責任を負いかねます。